



研究協議会 参考資料 I

漁業振興策 (スキーム)

株式会社建設技術研究所



検討会および作業部会の協議により、市内4漁協の漁業振興策として位置づけるとした漁業振興策は以下の通り。

漁業振興策	その他
②調査、点検業務等での漁船の活用	①基金の創設
③藻場の保全、モニタリング	
④人工漁礁の設置	
⑤放流栽培漁業	
⑥養殖漁業(海面養殖)	
⑦養殖漁業(陸上養殖)	
⑧水産物の高付加価値化	
⑨水産関係施設の集約化、漁港施設・設備の更新	

次ページ以降、想定される漁業振興策のスキーム図を示す。

※いちき串木野市の特性やこれまでの委員意見を踏まえているものの、漁業振興策自体の事例が少ないため現時点で想定される内容、担い手を記載している。

※今後、選定事業者との協議や漁業実態調査(水産資源の実態)などを踏まえて具体化を図る。

① 基金の創設

振興策	基金の創設								
概要	<p>発電事業で得られた利益を地域へ還元する目的として、基金を設置する。 基金の活用方法は、協議会等で協議の上決定し、その運用にあたっては、透明性を確保する。</p>								
スキームイメージ	<p>発電事業者</p> <p>出捐</p> <p>市(一般会計)</p> <p>(仮称) いちき串木野市 洋上風力発電漁業振興基金</p> <p>補助金申請</p> <p>補助金交付</p> <p>漁業振興策</p> <p>漁協・漁業者</p> <p>漁業影響調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 洋上風力発電の漁業への影響調査や報告は発電事業者の責任において適切に実施する ✓ 漁業影響調査の手法などについては法定協議会にて検討する ✓ 漁業影響調査の結果を市や漁協等に共有する 								
役割	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="58 925 120 1025">漁協(漁業関係者)</td> <td data-bbox="379 925 2013 1025">市や関係者(委員等)と協議して基金の活用方法を決定し、その取組を実施する。設備などに対する補助用途の場合、補助金申請を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="58 1025 120 1089">市</td> <td data-bbox="379 1025 2013 1089">基金を設置、運用する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="58 1089 120 1153">県(水産センター等)</td> <td data-bbox="379 1089 2013 1153">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="58 1153 120 1285">発電事業者</td> <td data-bbox="379 1153 2013 1285">地域や漁業との共存共栄の理念のもと、発電事業で得られた利益を地域へ還元する目的として、設置される基金への出捐等を行う。出捐金額は先進事例などを踏まえ、法定協議会で決定する。地域や漁業との協調策及び振興策の検討・実施に参画する。</td> </tr> </table>	漁協(漁業関係者)	市や関係者(委員等)と協議して基金の活用方法を決定し、その取組を実施する。設備などに対する補助用途の場合、補助金申請を行う。	市	基金を設置、運用する。	県(水産センター等)	-	発電事業者	地域や漁業との共存共栄の理念のもと、発電事業で得られた利益を地域へ還元する目的として、設置される基金への出捐等を行う。出捐金額は先進事例などを踏まえ、法定協議会で決定する。地域や漁業との協調策及び振興策の検討・実施に参画する。
漁協(漁業関係者)	市や関係者(委員等)と協議して基金の活用方法を決定し、その取組を実施する。設備などに対する補助用途の場合、補助金申請を行う。								
市	基金を設置、運用する。								
県(水産センター等)	-								
発電事業者	地域や漁業との共存共栄の理念のもと、発電事業で得られた利益を地域へ還元する目的として、設置される基金への出捐等を行う。出捐金額は先進事例などを踏まえ、法定協議会で決定する。地域や漁業との協調策及び振興策の検討・実施に参画する。								

②調査、点検業務等での漁船の活用

振興策		調査、点検業務等での漁船の活用
概要		<p>漁業者が所有する漁船を、洋上風力発電の調査段階、建設段階、運用段階で活用する。 洋上風力発電の運用段階における洋上風力発電を観光資源として活用し、観光船として漁船を活用する。 また、必要に応じて基金を活用し、調査船、観光船として併用できるような船舶の新規導入も検討する。</p>
スキームイメージ		<p>The diagram illustrates the flow of resources and information between four main entities:</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電事業者 (Power Generation Business): Represented by a wind turbine and a worker. It provides "洋上風力発電アクセス船 (CTV)" (Offshore wind power access vessels). 漁協・漁業者 (Fishermen's Association/Fishermen): Represented by a fisherman and a boat. They handle "新規購入" (New purchases) and "漁船の貸出" (Fishing boat rental). 市 (City): Manages a "基金" (Fund) and issues "企画依頼" (Project requests). 市(観光案内所) (City Tourism Center): Utilizes "観光船" (Tourist boats) and provides "依頼" (Requests) to fishermen. <p>Key interactions shown in the diagram:</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電事業者 → 漁協・漁業者: 依頼 (Request) 漁協・漁業者 → 発電事業者: 漁船の貸出 (Fishing boat rental) 漁協・漁業者 → 市: 補助金申請 (Subsidy application) 市 → 漁協・漁業者: 補助金 (Subsidy) 市(観光案内所) → 漁協・漁業者: 依頼 (Request) 漁協・漁業者 → 市(観光案内所): 漁船の貸出 (Fishing boat rental) 市 → 市(観光案内所): 企画依頼 (Project request)
役割	漁協(漁業関係者)	発電事業者または市(観光案内所)に対して漁船を貸し出し、運航する。 基金を活用した洋上風力発電アクセス船(CTV)・観光船の新規購入を検討する。
	市	洋上風力発電見学のツアーを企画し、漁船を観光船として利用を検討する。
	県(水産センター等)	-
	発電事業者	調査、建設、運用段階において市内漁業者の漁船を活用する。

③藻場の保全、モニタリング

振興策	藻場の保全、モニタリング										
概要	市、漁協(漁業者)、大学等が連携してブルーカーボン創出プロジェクト協議会(仮称)を立ち上げ、磯焼け対策や藻場造成を行う。 プロジェクトを通してブルーカーボンクレジットを創出し、クレジットで得た利益をプロジェクトに還元する。										
スキームイメージ	<p>(仮称)ブルーカーボン創出プロジェクト協議会</p> <p>漁業者 ↔ 市(基金) ↔ 大学研究機関等</p> <p>発電事業者 (漁業影響調査の共有)</p> <p>県 (ホンダワラ事業等(水深5~6m)) (助言/相談)</p> <p>事前調査、プロジェクト・算定手法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 藻場回復事業に向けた海洋調査(藻場調査、食害動物調査) ✓ プロジェクトの検討、見直し <p>プロジェクトの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ホンダワラ事業(県)の拡大・強化 ✓ 母藻の設置(ヒジキ)、種苗の投入(ワカメ) ✓ 食害対策(ウニの駆除、藻食魚の除去) ✓ 環境教育(地域における環境学習授業) <p>調査・モニタリング 吸収量算定・認証申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 面積調査 ✓ 吸収量算定 ✓ 申請 ✓ モニタリング <p>環境学習機会の提供 → 市民・学生</p> <p>ブルーカーボンクレジット → 認証・発行 → JBE → 申請 → クレジットの購入 → 個人企業等</p> <p>※Jブルークレジット®制度</p> <p>クレジットの販売</p>										
役割	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="352 1042 497 1099">漁協(漁業関係者)</td> <td data-bbox="497 1042 2030 1099">海洋調査、プロジェクトを実施する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1099 497 1228">市</td> <td data-bbox="497 1099 2030 1228">ブルーカーボン創出プロジェクト協議会(仮称)を設置し、その運営を行う。 事前調査を踏まえ、プロジェクトや算定手法を検討し、プロジェクトを実施する。 ブルーカーボンクレジット認定申請を行い、得られたクレジットをプロジェクトに還元する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1228 497 1285">県(水産センター等)</td> <td data-bbox="497 1228 2030 1285">県事業におけるモニタリング結果や研究調査結果を共有し、助言等を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1285 497 1342">大学・研究機関等</td> <td data-bbox="497 1285 2030 1342">磯焼け対策、藻場造成に対する共同研究、調査、助言を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="352 1342 497 1399">発電事業者</td> <td data-bbox="497 1342 2030 1399">漁業影響調査(藻場)に関する情報を共有する。</td> </tr> </table>	漁協(漁業関係者)	海洋調査、プロジェクトを実施する。	市	ブルーカーボン創出プロジェクト協議会(仮称)を設置し、その運営を行う。 事前調査を踏まえ、プロジェクトや算定手法を検討し、プロジェクトを実施する。 ブルーカーボンクレジット認定申請を行い、得られたクレジットをプロジェクトに還元する。	県(水産センター等)	県事業におけるモニタリング結果や研究調査結果を共有し、助言等を行う。	大学・研究機関等	磯焼け対策、藻場造成に対する共同研究、調査、助言を行う。	発電事業者	漁業影響調査(藻場)に関する情報を共有する。
漁協(漁業関係者)	海洋調査、プロジェクトを実施する。										
市	ブルーカーボン創出プロジェクト協議会(仮称)を設置し、その運営を行う。 事前調査を踏まえ、プロジェクトや算定手法を検討し、プロジェクトを実施する。 ブルーカーボンクレジット認定申請を行い、得られたクレジットをプロジェクトに還元する。										
県(水産センター等)	県事業におけるモニタリング結果や研究調査結果を共有し、助言等を行う。										
大学・研究機関等	磯焼け対策、藻場造成に対する共同研究、調査、助言を行う。										
発電事業者	漁業影響調査(藻場)に関する情報を共有する。										



<p>振興策</p>	<p>人工漁礁の設置</p>								
<p>概要</p>	<p>基金を活用して、魚介類の保護、育成、蛸集、増加等を目的として人工漁礁設置を図る。設置に際しては、洋上風力発電の蛸集効果も踏まえて設置場所等を検討する。発電事業者は洋上風力発電関連設備(基礎部分・ケーブル等)の設置の際には、蛸集効果のある人工漁礁やブロックの設置等を検討する。併せて、漁場機能の維持・拡大となるような取組を実施する。</p>								
<p>スキームイメージ</p>	<p>発電事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> 根固めブロック 洗掘防止ブロック 人工漁礁 <p>誘導漁礁</p> <p>保護育成礁</p> <p>海洋ごみ回収</p> <p>市 基金</p> <p>県</p> <p>助言</p> <p>相談</p> <p>情報提供</p> <p>漁業者</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁業影響調査の結果の共有 基礎周辺へのブロック設置※ 関連施設へのブロック設置※ 人工漁礁の蛸集効果のモニタリング 海洋漂着物の回収・処理※ など <p>【蛸集効果を狙う魚種】</p> <ul style="list-style-type: none"> イセエビ チリメン マアジ イサキ アオリイカ (稚魚固定) ヒラメ チダイ ブリ(ハマチ) カンパチ(ネリゴ) アカセミ キジハタ スジアラ ハタ類 等 <p>※漁場機能の維持・拡大の取組</p>								
<p>役割</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="51 1071 404 1128"> <p>漁協(漁業関係者)</p> </td> <td data-bbox="404 1071 1989 1128"> <p>漁獲量や魚種データを、情報提供する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="51 1128 404 1185"> <p>市</p> </td> <td data-bbox="404 1128 1989 1185"> <p>人工漁礁を設置し、その効果をモニタリングする。洋上風力発電設備と合わせた蛸集効果を調査する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="51 1185 404 1242"> <p>県(水産センター等)</p> </td> <td data-bbox="404 1185 1989 1242"> <p>人工漁礁の設置について助言する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="51 1242 404 1375"> <p>発電事業者</p> </td> <td data-bbox="404 1242 1989 1375"> <p>洋上風力発電設備の付近へ人工漁礁等を設置する。 漁業影響調査の結果を共有する。 漁場機能の維持・拡大の取組を実施する。</p> </td> </tr> </table>	<p>漁協(漁業関係者)</p>	<p>漁獲量や魚種データを、情報提供する。</p>	<p>市</p>	<p>人工漁礁を設置し、その効果をモニタリングする。洋上風力発電設備と合わせた蛸集効果を調査する。</p>	<p>県(水産センター等)</p>	<p>人工漁礁の設置について助言する。</p>	<p>発電事業者</p>	<p>洋上風力発電設備の付近へ人工漁礁等を設置する。 漁業影響調査の結果を共有する。 漁場機能の維持・拡大の取組を実施する。</p>
<p>漁協(漁業関係者)</p>	<p>漁獲量や魚種データを、情報提供する。</p>								
<p>市</p>	<p>人工漁礁を設置し、その効果をモニタリングする。洋上風力発電設備と合わせた蛸集効果を調査する。</p>								
<p>県(水産センター等)</p>	<p>人工漁礁の設置について助言する。</p>								
<p>発電事業者</p>	<p>洋上風力発電設備の付近へ人工漁礁等を設置する。 漁業影響調査の結果を共有する。 漁場機能の維持・拡大の取組を実施する。</p>								

⑤ 養殖漁業（海面養殖）



振興策	養殖漁業(海面)	
概要	現在、進められている「ヒオウギ貝」の養殖試験について、販売ルートの開拓やブランド化検討などにより、事業化を検討する。 事業化後の支援等として、初期費用の助成や勉強会の開催を検討する。	
スキームイメージ		
役割	漁協(漁業関係者)	ヒオウギ貝試験養殖の事業化に向けた取組を行う。 販売方法やブランド化のほか、勉強会の開催(ノウハウ共有)を検討する。
	市	ヒオウギ貝試験養殖の事業化に向けた取組を支援する。(販売方法の検討、ヒオウギ貝のPR、ブランド化検討等) 漁業者の事業参入支援を行う。(初期費用補助、勉強会の開催、養殖ノウハウのマニュアル作成等)
	県(水産センター等)	養殖技術の確立と種菌の提供を行う。
	大学等・有識者	水産流通(販路拡大、需要創出など)について助言する。
	発電事業者	事業者のノウハウを活かした、PRや販路開拓を行う。

⑥養殖漁業（陸上養殖）



振興策	養殖漁業(陸上)	
概要	漁港の空き用地などで陸上養殖の可能性を検討する。 陸上養殖の他自治事例の収集し、基金を活用した試験養殖事業を行う。	
スキームイメージ	<p>発電事業者 → 販路創出 → 消費者</p> <p>電力 ↓ ↑ 買電</p> <p>漁業者 ← 意見・要望 → 市 (基金) → 相談 → 県 (大学・有識者)</p> <p>補助金 ← 助言 ←</p> <p>✓ RE100ブランド化 ⚡</p> <p>※RE100とは 事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギー(Renewable Energy)で調達することを目標とする目標や取組のこと。</p>	
役割	漁協(漁業関係者)	試験養殖を行う。 設備電力には、洋上風力発電電力を活用する。
	市	試験養殖を担う漁業者に対して、基金を原資として初期投資費用を助成する。 先進事例の収集を行い、本市で可能性のある陸上養殖の事業を検討する。 事業化後のPR及びブランド化、販売ルートなどを検討する。
	県(水産センター等)	陸上養殖事業の技術やノウハウを共有し、アドバイスを行う。
	大学等・有識者	水産流通(販路拡大、需要創出など)についてアドバイスを行う。
	発電事業者	再エネ電力を売電し、発電事業者のノウハウを活かした、PRや販路開拓を行う。

振興策	放流栽培漁業								
概要	<p>漁獲量増加のため、基金を活用した「種苗放流事業」を継続・拡大を図る。 現在放流されている魚種だけでなく、より高価で定着性のある魚種など、新たな魚種を検討する。 放流栽培漁業の効果をモニタリングし、事業の検証を行う。</p>								
スキームイメージ	<p>希望魚種 ・マダイ ・ヒラメ ・キジハタ ・定着性のある魚価の高い魚種 (ヤマモチ、シマアジなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 種苗の育成・放流 ✓ 新たな対象魚種の検討 ✓ 種苗の調達 ✓ モニタリング 								
役割	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="120 1025 445 1080">漁協(漁業関係者)</td> <td data-bbox="445 1025 1980 1080">放流栽培を実施し、モニタリング調査に協力する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="120 1080 445 1136">市</td> <td data-bbox="445 1080 1980 1136">魚類種苗放流事業を継続するとともに、新たな魚種拡大の検討を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="120 1136 445 1192">県(水産センター等)</td> <td data-bbox="445 1136 1980 1192">専門的な知見から技術助言を行い、モニタリング結果を共有する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="120 1192 445 1249">発電事業者</td> <td data-bbox="445 1192 1980 1249">漁業影響調査の結果を共有する。</td> </tr> </table>	漁協(漁業関係者)	放流栽培を実施し、モニタリング調査に協力する。	市	魚類種苗放流事業を継続するとともに、新たな魚種拡大の検討を行う。	県(水産センター等)	専門的な知見から技術助言を行い、モニタリング結果を共有する。	発電事業者	漁業影響調査の結果を共有する。
漁協(漁業関係者)	放流栽培を実施し、モニタリング調査に協力する。								
市	魚類種苗放流事業を継続するとともに、新たな魚種拡大の検討を行う。								
県(水産センター等)	専門的な知見から技術助言を行い、モニタリング結果を共有する。								
発電事業者	漁業影響調査の結果を共有する。								

⑧水産物の高付加価値化

振興策	水産物の高付加価値化										
概要	<p>新たな加工場等を整備して、漁獲から加工・販売までの6次産業化を検討する。 魚価向上のため仲買人等の参入を支援する。 水産加工業者で再エネ電力を活用することにより、RE100商品化を検討する。</p>										
スキームイメージ											
役割	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="53 1002 385 1102">漁協(漁業関係者)</td> <td data-bbox="385 1002 2026 1102">高度な衛生管理環境が確保された荷捌き場、加工場を整備し、6次産業化(漁獲・加工・販売)に向けた事業スキームを検討する。(直売所・食堂も含む)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="53 1102 385 1165">市</td> <td data-bbox="385 1102 2026 1165">魚食普及や水産加工物のPRを行う。仲買人等が参入するための支援を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="53 1165 385 1222">県(水産センター等)</td> <td data-bbox="385 1165 2026 1222">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="53 1222 385 1279">発電事業者</td> <td data-bbox="385 1222 2026 1279">発電事業者のノウハウを活かし、漁協や水産物加工業者と連携して、市特産品のブランド化、商品開発等の支援を行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="53 1279 385 1335">水産加工事業者</td> <td data-bbox="385 1279 2026 1335">再エネ電力を活用し、水産加工品のブランド化等を進める。</td> </tr> </table>	漁協(漁業関係者)	高度な衛生管理環境が確保された荷捌き場、加工場を整備し、6次産業化(漁獲・加工・販売)に向けた事業スキームを検討する。(直売所・食堂も含む)	市	魚食普及や水産加工物のPRを行う。仲買人等が参入するための支援を行う。	県(水産センター等)	-	発電事業者	発電事業者のノウハウを活かし、漁協や水産物加工業者と連携して、市特産品のブランド化、商品開発等の支援を行う。	水産加工事業者	再エネ電力を活用し、水産加工品のブランド化等を進める。
漁協(漁業関係者)	高度な衛生管理環境が確保された荷捌き場、加工場を整備し、6次産業化(漁獲・加工・販売)に向けた事業スキームを検討する。(直売所・食堂も含む)										
市	魚食普及や水産加工物のPRを行う。仲買人等が参入するための支援を行う。										
県(水産センター等)	-										
発電事業者	発電事業者のノウハウを活かし、漁協や水産物加工業者と連携して、市特産品のブランド化、商品開発等の支援を行う。										
水産加工事業者	再エネ電力を活用し、水産加工品のブランド化等を進める。										

⑨水産関係施設の集約化、漁港施設・設備の更新



振興策	水産関係施設の集約化、漁港施設・設備の更新								
概要	<p>現在の漁業実態や利用状況にあわせて、近隣の漁港間での施設利用の見直しを行い、必要に応じて規模の適正化や再編・集約などを検討する。</p> <p>漁業従事者の減少等に伴い稼働率の低い漁港施設について、建て替えや更新、整備を行う。</p> <p>余裕の生じた施設・用地・水域は、新たな生産の場や交流の場などに利活用する。</p>								
スキームイメージ	<p>漁協・漁業者</p> <p>県</p> <p>市</p> <p>整備方針の要望</p> <p>漁港施設の整備</p> <p>整備方針の要望 補助金申請</p> <p>補助金支出</p> <p>基金</p> <p>老朽化した漁港施設の更新による市場の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫 ・冷凍庫 ・製氷機 ・上架施設 等 <p>近隣の漁港間での施設利用の見直し</p> <p>漁港施設の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荷捌き所 ・加工場 等 <p>空白地の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設 ・陸上養殖 ・漁業体験施設 ・直売所 等 								
役割	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="51 1021 410 1156">漁協(漁業関係者)</td> <td data-bbox="410 1021 2009 1156">更新する漁港施設・設備の方向性を定める。漁港間での施設利用の見直し、集約化を検討する。空白地の有効利用の方針を検討する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="51 1156 410 1249">市</td> <td data-bbox="410 1156 2009 1249">海業などの新しい施策を活用し、漁港施設の有効利用を調査する。設備更新に伴う補助金を交付する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="51 1249 410 1306">県(水産センター等)</td> <td data-bbox="410 1249 2009 1306">漁港施設の整備(県事業)を継続検討する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="51 1306 410 1368">発電事業者</td> <td data-bbox="410 1306 2009 1368">-</td> </tr> </table>	漁協(漁業関係者)	更新する漁港施設・設備の方向性を定める。漁港間での施設利用の見直し、集約化を検討する。空白地の有効利用の方針を検討する。	市	海業などの新しい施策を活用し、漁港施設の有効利用を調査する。設備更新に伴う補助金を交付する。	県(水産センター等)	漁港施設の整備(県事業)を継続検討する。	発電事業者	-
漁協(漁業関係者)	更新する漁港施設・設備の方向性を定める。漁港間での施設利用の見直し、集約化を検討する。空白地の有効利用の方針を検討する。								
市	海業などの新しい施策を活用し、漁港施設の有効利用を調査する。設備更新に伴う補助金を交付する。								
県(水産センター等)	漁港施設の整備(県事業)を継続検討する。								
発電事業者	-								